福島原発事故を検証する

島根原発訴訟公開勉強会

津波の前に地震で配管損傷の可能性

❤松江会場

とき　１月１２日（日）

１４：００～

会場　県民会館３０３

❤米子会場

とき　１月１３日（月）

１０：３０～

会場　日本海新聞社西部本社

（３階会議室）

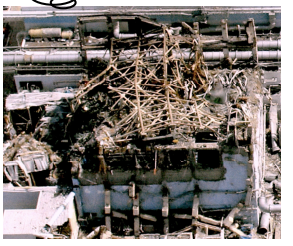
＊松江・米子会場とも入場無料

＊米子会場の演題は「島根原発事故時の被害想定と汚染水問題」

講師　小山英之氏

美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会代表、大阪府立大学工学部元講師

島根原発は
安全対策でメルトダウンが
防げるのだろうか？



爆発した福島原発
島根原発は
大丈夫なの？

福島第一原発の事故後、規制員会は電力会社に対して緊急の安全対策を指示し、中国電力も急ピッチで進めています。東京電力や規制委員会は福島原発事故について、「炉心溶融を招いた原因は津波にある」としているため、その安全対策は、ほとんど津波対策です。

ですが、国会事故調は事故の分析を行い、その報告書の中で、津波の前に地震によって重大な事態を招いた可能性を指摘しています。同様に、小山英之氏も東京電力が公表したデータを分析し、非常用復水器（IC）配管に損傷が生じた結果、冷却水が漏れ、炉心溶融に至ったのではないかと指摘されます。

地震による炉心溶融の可能性は、地震大国日本で、原発を動かすこと自体を根本的に問わなければならないのではないでしょうか。

主催　中国電力・島根原子力発電所３号機の運転をやめさせる訴訟の会

共催　さよなら島根原発ネットワーク

連絡先：090－1330－6568（布野）・090－7138－0730（土光）・アドレス：nonukes@my-s-pace.jp